特記仕様書の適用

II 建築工事仕様

1．特記仕様
1)項目は，番号に○印の付いたものを適用する。
2)特記事項は，⊙印の付いたものを適用する。⊙印のつかない場合は，※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印の付いた場合は，共に適用する。
3)特記事項に記載の(　　)内表示番号は，「公共建築工事標準仕様書」の当該項目，当該図又は当該表を示す。

2．適用基準等
図面及び特記事項に記載されていない事項は，全て国土交通省（建設）大臣官房官庁営繕部監修の以下による。

※ 公共建築工事標準仕様書　（平成25年版[平成26年３月改定]）
・ 公共建築改修工事標準仕様書　（平成25年版[平成26年３月改定]）
⊙ 建築工事標準詳細図　（平成22年版）
・ 敷地調査共通仕様書　（平成23年版）
・ 建築物解体工事共通仕様書　（平成24年版）

3章　土工事

項目	特記事項
土工事	
1 埋戻し及び盛土	種別 ・ Ａ種 （水締めのきく砂質土）　（3．2．3）(表3．2．1) ※ Ｂ種 ・ Ｃ種 ・ Ｄ種
2 建設発生土の処理	※ 構外搬出適切処理（搬出前に建設発生土の受入証明又は法令による許可書等を提出する） ・ 構内指示の場所に敷き均し　（3．2．5） ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構外指示の場所に処分（搬出調書等を提出する） ・ 受入れ施設名： ・ 受入れ場所：
3 山留め	山留め工法　⊙ SMW工法　（3．3．3） 山留めの撤去　※ 撤去する　⊙ 撤去しない

4章　地業工事

項目	特記事項
地業工事	
1 試験杭	杭の位置，本数，寸法　※ 図示 ・　（4．2．2） 杭の種類　※ 本杭 ・
2 既製コンクリート杭地業	杭の種類 ※ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（ＰＨＣ杭）　（4．3．2） ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭） ⊙ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭） ・ 種類，性能及び曲げ強度等による区分等　※ 図示 ・ 寸法及び継手　※ 図示 ・　（4．3．2）(表4．3．1) 杭先端部形状　※ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形　（4．3．2） 工法 ・ 打込み工法　（工法：　）(4．3．2)（4．3．3） 設計支持力： プレボーリングを併用する場合掘削深さ及び径： 杭の水平方向の位置ずれ及び傾斜精度：　※ 図示 ・ 打込杭の推定支持力の算定方法：　※ 図示 ・ ・ セメントミルク工法　（4．3．2）(4．3．4） 支持地盤の位置及び種類： 掘削深さ及び支持地盤への根入れ深さ：※ 図示 ・ 杭の精度　水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 傾斜 ・ 1/100以内 ・ ⊙ 特定埋込杭工法（建築基準法認定工法）　（4．3．2）(4．3．5） 工法：　~~Hyper MEGA工法~~又はHybrid二ーディング工法 支持地盤の位置及び種類：　※ 図示 ・ 杭の精度　水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ⊙ 100mm以下 傾斜 ⊙ 1/100以内 杭の継手工法　※ アーク溶接継手　（4．3．6） ⊙ 無溶接継手（工法：※ 性能評価された工法 ・　） ・ 杭頭処理　杭頭の切断方法　※ ダイヤモンドカッター ⊙ レベル止め　（4．3．7） （切断しない）
3 砂利地業	材料　※ 切込砂利または切込砕石　※ 再生クラッシャラン（直接基礎下を除く）（4．6．2） 厚さ ・ 図示　※ 60mm ・　（4．6．3）
4 捨コンクリート地業	設計基準強度　※ 18N/mm² ・　（6．14．1） スランプ　※ 15cm ・ 18cm 厚さ　※ 50mm ・　（4．6．4）
5 床下防湿層	⊙ ポリエチレンフィルムの厚さ　※ 0．15mm

5章　鉄筋工事

項目	特記事項
鉄筋工事	
1 鉄筋の種類	（5．2．1）（表5．2．1）

種類の記号	呼び径(mm)	使用箇所
⊙ SD295A	D10～D16	スラブ，壁，基礎，せん断補強筋
・ SD295B		
⊙ SD345	D19～D25	柱梁主筋，壁，基礎
⊙ SD390	D25～D32	柱梁主筋，壁，基礎
⊙ SR235	13φ以下	図示
⊙ SR295	13φ以下	図示
⊙ 溶接閉鎖型せん断補強筋SD295A	D13	柱せん断補強筋
⊙ エポキシ樹脂塗装鉄筋SD295A	D13～D16	誘発目地部
⊙ エポキシ樹脂塗装鉄筋SD345	D19～D25	誘発目地部

2 溶接金網等　規格　※ JIS G 3551　（5．2．2）
種類　・ 溶接金網　⊙ 鉄筋格子
網目の形状，寸法（　図示　）
呼び径(mm)　（　D6、D10　）

3 鉄筋の継手及び定着　継手　（5．3．4）（表5．3．2）（表5．3．3）

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱，梁の主筋	※ ガス圧接 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手	D25，D29，D32
耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手 ・	D13～D25
その他	※ 重ね継手 ・	
その他	⊙ 溶接継手(CB工法)（基礎梁の一部）	D32

継手の位置　※ 図示 ・ 配筋標準図による　（5．3．4）
先組み工法等で柱及び梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合 ・
重ね継手の長さ　※ 図示 ・ 5．3．4(c)による　（表5．3．2）（5．3．4(c)）
鉄筋の定着の長さ ※ 5．3．4(e)による⊙図示　（表5．3．4）（5．3．4(e)）

4 鉄筋のかぶり厚さ　※ かぶり厚さは目地底から算定する
・ 塩害を受けるおそれのある部分等，耐久上不利な箇所のかぶり厚さは下表による

施工箇所等	表5．3．6の値に加える数値(mm)
柱，梁，壁及び庇等の外気に接する打増し面	※ 10 ・

・ 軽量コンクリートで土に接する部分の最小かぶり厚さ　（5．3．5）
表5．3．6の値に加える数値(mm)　）
・ 機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき　※ 図示 ・　（5．3．5）

5 各部の配筋　※ 図示 ・　（5．3．7）

6 圧接完了後の試験　試験方法　※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験　（5．4．9）

6章　コンクリート工事

項目	特記事項
コンクリート工事	
1 コンクリートの種類・強度・スランプ	⊙ 普通コンクリート　（6．2．1）（6．2．2）（6．2．4）（表6．2．2）

設計基準強度 Fc(N/mm²)	スランプ(cm)	適用箇所	単位水量上限
※ 21	・ 15・ 18		
⊙ 18	⊙ 15・ 18	防水押え，機械基礎，嵩上げコン，土間コン	180kg/m³
⊙ 27	⊙ 15・ 18	免震装置より下部の躯体	180kg/m³
⊙ 30	・ 15⊙ 18	免震装置より上部の躯体	180kg/m³

⊙ 高強度コンクリート

設計基準強度 Fc(N/mm²)	スランプ(cm)	適用箇所	単位水量上限
⊙ 60(大臣認定品)フロー60cm免震部材基礎柱			180kg/m³

・ 軽量コンクリート

設計基準強度 Fc(N/mm²)	スランプ(cm)	適用箇所
※ 21	・ 15・ 18	
・ 18	・ 15・ 18	
・		

コンクリートの類別　※ Ⅰ類 ・ II類　（6．2．1）（表6．1．1）
（H26年3月改定6．2．2）
構造体コンクリート強度は，材齢91日において設計基準強度以上とする。
なお，工事現場における構造体コンクリート強度の推定は，現場水中養生による材齢28日における管理を基本とし，これを満足しないと想定される場合に，現場封かん養生による材齢28日を超え91日以内の強度を推定する試験を行うものとする。

構造体コンクリート強度の推定試験　（H26年3月改定6．9．5）
(a)構造体コンクリート強度の推定試験の判定は，次の(1)又は(2)のいずれかを満足すれば合格とする。
(1) 現場水中養生供試体の材齢28日の圧縮強度試験結果から判定する場合は，満足すること。
（ⅰ）材齢28日までの平均気温が20℃以上の場合は，１回の試験結果が調合管理強度以上であること。
（ⅱ）材齢28日までの平均気温が20℃未満の場合は，１回の試験結果が設計基準強度に3N/mm²を加えた値以上であること
(2) 現場封かん養生供試体の材齢28日を超え91日以内の圧縮強度試験の１回の試験結果が，設計基準強度に3N/mm²を加えた値以上であれば合格とする。ただし，セメントの種類が普通ポルトランドセメント以外の場合は，上記に加え，現場封かん養生供試体の材齢28日の圧縮強度試験の１回の試験結果が，設計基準強度に0．7を乗じた値以上であることを確認すること。
(b)不合格となった場合は，監督職員の承諾を受け，JIS A 1107（コンクリートからのコアの採取方法及び圧縮強度試験方法）又はその他の適切な試験方法により構造体の強度を確認し，必要な処置について，監督職員の指示を受ける。

2 セメントの種類　※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　（6．3．1）（6．13．2）
・ 高炉セメントＢ種　（適用箇所：　）
・ フライアッシュセメントＢ種（適用箇所：　）

7章　鉄骨工事

項目	特記事項
鉄骨工事	
1 鉄骨製作工場	※「指定性能評価機関」による認定工場　（7．1．3） ⊙Ｓグレード ⊙Ｈグレード ・Ｍグレード ・Ｒグレード ・Ｊグレード ・ 監督職員の承諾する工場
2 施工管理技術者	適用する（鉄骨製作管理技術者2級以上）　（7．1．3）（7．1．4）
3 鋼材	（7．2．1）（表 7．2．1）

材質	形状	寸法	使用箇所	材質
SM490A	図示	図示	※図示 ・	高炉又は電炉鋼材
SM400A	図示	図示	※図示 ・	高炉又は電炉鋼材
SN490C	図示	図示	※図示 ・	高炉又は電炉鋼材
SN490B	図示	図示	※図示 ・	高炉又は電炉鋼材
SN400B	図示	図示	※図示 ・	高炉又は電炉鋼材
SS400	図示	図示	※図示 ・	高炉又は電炉鋼材
SSC400	図示	図示	※図示 ・	高炉又は電炉鋼材
TMCP鋼	図示	図示	※図示 ・	大臣認定品

4 高カボルト　高力ボルトの種類　※ トルシア形高力ボルト（S10T）　（7．2．2）
⊙ JIS 形高力ボルト（F10T）
⊙ 溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）
高力ボルトの径　※ 図示

5 普通ボルト　普通ボルトの径　※ 図示　（7．2．3）（表7．2．3）

6 アンカーボルト　・ 構造用アンカーボルトの種類
・ ABR400 ⊙ ABR490 ・ ABM400 ・ ABM490 ・ 規格外(　　)
・ 建方用アンカーボルトの種類
・ SS400 ⊙ SNR490B
ねじの規格等　※ 表7．2．3による(セット品を除く)・

7 ターンバックル　胴の種類　※ 割枠式 ・ パイプ式　（7．2．6）
ボルトの種類　※ 羽子板ボルト ・ 両ねじ式 ・ アイボルト
ねじの呼び　※ 図示 ・

8 デッキプレート　（7．2．7）

	適用箇所	材質、形状、寸法	備考
・ デッキプレート単独の構法			JIS G 3352適合品
・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			JIS G 3352適合品
・ 床型枠用鋼製デッキプレート			

耐火認定　・ 有り(耐火時間：※ 図示 ・　)

9 レール及びその付属品　形状及び寸法等　※ 図示 ・　（7．2．8）

項目	特記事項
10 工作一般	高力ボルト，普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等（7．3．2） ※ 図示 ・ 仮組の実施　・ 実施する(部位：　) ※ 実施しない　（7．3．10）
11 溶接接合	溶接技能者への技量付加試験　⊙ 行う　※ 行わない　（7．6．3）
	開先の形状　※ 図示 ・「鉄骨工事技術指針・工場製作編」による（7．6．4）
	スカラップの形状　※ 図示 ・　（7．6．7） エンドタブ　※ 切除する ・ 切除しない 適用箇所　※ 見えがかり部 ・ 図示
12 溶接部の試験	・ 超音波探傷試験　（7．6．11） 工場溶接の場合　ＡＯＱＬ　※ 4．0% ・ 2．5%

節	
検査水準	※ 第６水準 ・

代替エンドタブを使用する場合は，全数検査とする
現場溶接の場合　ＡＯＱＬ　※ 4．0% ・ 2．5%
代替エンドタブを使用する場合は，全数検査とする
・ 放射線透過試験　試験箇所　(　　)
・ マクロ試験(エンドタブ使用)　試験箇所　(　　)
⊙ 超音波探傷試験（抜取率は図示）

13 デッキプレートの溶接	※ 図示 ・　（7．7．8）
14 錆止め塗料の種別	⊙ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)（7．8．3） ※ 表18．3．1のＡ種 ・ ⊙ 耐火被覆材の接着する面への塗装　適用箇所　※ 図示 ・ 塗料の種別 ⊙ 表18．3．1のＡ種
15 耐火被覆	種類　（7．9．2） ・ ロックウール吹付け工法　(・乾式工法 ⊙半乾式工法 ・湿式工法)（7．9．4） ・ 耐火板張り工法　（7．9．5） ・ 耐火材巻き付け工法　（7．9．6） ・ ラス張りモルタル塗り　（7．9．7）

所要性能

所要性能			適用箇所
⊙ 30分	⊙ 1時間	⊙ 2時間	図示
・ 30分	・ 1時間	・ 2時間	

16 アンカーボルトの保持及び埋込み工法	建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法　（7．10．3）（表7．10．1） 構造用アンカーボルト　※ 図示　（7．10．3）（7．2．4） ・ 形状　(　　)，寸法　(　　) アンカーフレーム　※ 図示 ・ 形状　(　　)，寸法　(　　) 柱底均しモルタル ※ Ａ種　(※ 50mm ・　　)　(7．2．9)(7．10．3)(表7．10．2) ・ Ｂ種　(※ 30mm ・　　) 無収縮モルタルの製造所　評価名簿による 無収縮モルタルの調合等　※ 7．2．9(b)による・　（7．2．9）
17 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合	摩擦面の処理　※ ブラスト処理又はりん酸塩処理　（7．4．2）（7．12．4） ただし，りん酸塩処理とする場合は，2次部材のみを対象とし，すべり耐力等の確認をすべり試験により行うこと。

着工	平成 28年 6月 25日		
竣工	令和 元年 11月 30日		
監理			監理　日建・上田特定監理業務等共同企業体
施工			施工　大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体

完成図　構-01

日建・上田特定設計委託業務
共同企業体

高知市都市建設部公共建築課					
担当	担当	係長	課長補佐	副参事	課長

高知市新庁舎建設工事

特記仕様書 建築工事編（構造）（1）

構 01
1 － 1

NO. 0－140004－B